

認知症予防及び健康づくり推進のための三者連携協定

1 協定締結式

日 時 11月26日(水)午前9時

場 所 市役所3階大会議室

出席者 越前市 山田賢一市長

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）

荒井秀典理事長、老年学・社会科学研究センター 島田裕之センター長

株式会社 ほっとリハビリシステムズ(越前市高木町)

松井一人代表取締役

2 協定締結に至った理由・背景

人生100年時代を迎え、健康で自立した生活を長く続けるためには、現役世代から高齢期に至るまで、認知機能の低下や筋力の衰えなどの予防と早期対応が、健康寿命の延伸に不可欠である。

こうした課題に対し、研究・実践・行政の三者が連携することで、科学的根拠に基づいた効果的な介護予防・健康づくり施策を推進できると判断し、本協定の締結に至った。

3 事業概要

②越前市 健康増進課

現役世代の
市民を対象

・「脳の健康チェックアプリ」の普及・啓発
・軽度認知症の拾い上げ
・ほっとリハビリシステムズとの協働による
新規教室に誘導し、認知症機能向上を図る。

②越前市 長寿福祉課

65歳以上の
高齢者を対象

①国立長寿医療研究センター

※厚生労働省所管の国立研究開発法人 高齢者医療と介護の総合的・中核的な専門研究機関

・科学的根拠に基づくプログラム設計・提供
・実証事業の効果検証・評価
・監修

※地域に根ざした介護予防とリハビリ支援を専門とする市内事業所

③ほっとリハビリ システムズ

・デジタルツールの提供・効果検証サポート
・DXを活用した運動プログラムや脳トレアプリ
「FunXingQ」の提供教室での実技サポート

事業概要イメージ



図 1



図 2

脳健康度チェックアプリによる
認知機能低下者の拾い上げ

誘導



図 3

認知・運動機能改善のための教室



図 4

※図1～3 出典：国立長寿医療研究センターHP
※図4 出典：ほっとリハビリシステムズ資料